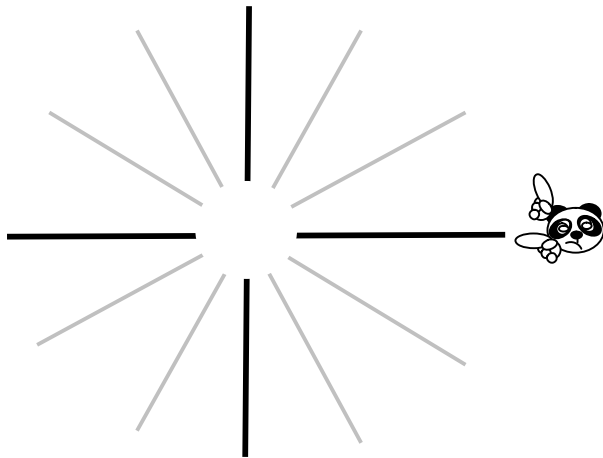


乱視表こんな時どうするの？

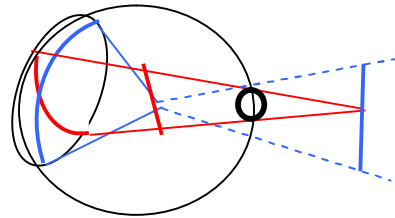
ケース1:「濃い線、薄い線がありますか？」と聞いたら「縦と横が濃い」と言う。どうしよう？



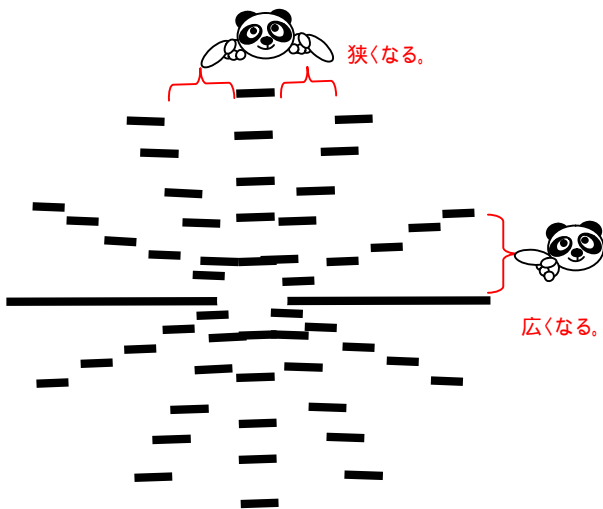
最小錯乱円が網膜上にあることが考えられる。

理由ははっきりしない。

前焦線が横で後焦線が縦だとするとその焦線の方がはっきり見え、あとはぼけている。網膜の位置では理論上、縦も横もほどほどのぼけで、全て同じ濃さに見えるはずであるが、斜め方向は点線が若干ひずむので薄く見えるのか？



ケース2:「濃い線、薄い線がありますか？」と聞いたら「縦の付近の線の間隔が狭く横にいくほど広がる」と言う。どうしよう？

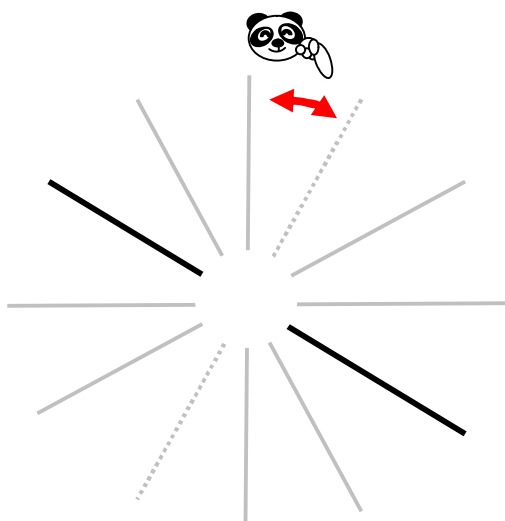
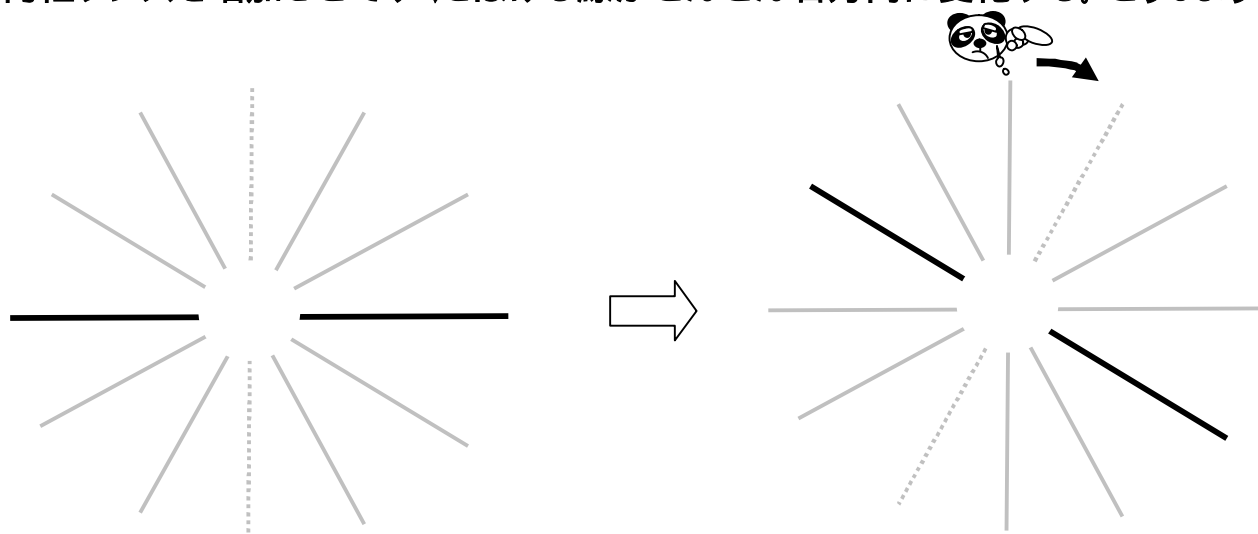


ぼやける方向に伸びるのでその間隔が狭くなり、反対方向は収縮するので間隔が広がる。

余談ぼやける場合、白地も黒点もぼやけるが黒点のボケと白地のボケがその位置でにじむのでぼやけた黒の方が認識され、この例の場合、横につながって見える。

この場合、横方向がぼやけているので円柱レンズの軸は90°方向に装用する。

ケース3:「縦がぼける」と言ったので円柱レンズを90°に装用して乱視表が均等になるまで円柱レンズを増加させてゆくとぼける線がどんどん右方向に変化する。どうしよう？



乱視矯正中、濃淡の方向がどんどん変わる場合、円柱レンズの軸がずれており、度数が増加するにつれ、微妙な軸のずれでの度数の誤差が大きくなった為と考えられる。
常に移動した軸と元の軸の間で動かして濃淡の最も少なくなる位置にする必要がある。

ケース4: 雲霧状態にて乱視表で矯正してゆくと濃く見える方向が変わると言い、よく判らない！
どうしよう？

放射線視標は10°間隔で作製されている為、その狭間に軸があることでこう答える場合がある。
スリット板だと精度は約5°以内なので、スリット板を試してみるのも1つの手。